



ふくみの 突撃インタビュー

介護老人福祉施設
愛全園 編

「ボランティアさんとの出会いは“ご縁”」

福井市内では、たくさんのボランティア活動が行われています。今回は、愛全園の布川さんと坪田さんに、施設でのボランティア活動の様子を聞いてみました！



▲愛全園の
布川さん(左)と坪田さん(右)

Q どんなボランティア活動がありますか？

A 利用者さんのお話し相手や、囲碁や将棋、麻雀のお相手、唄や踊りなどの特技を披露していただいたり、高校生から高齢の方まで、幅広い年代の方に活動していただいています。

Q 活動しているボランティアさんの声を教えてください！

A 「『あなたの顔が見たかった』と言われて、感動した」「お話し相手というよりも、井戸端会議にきている感覚で楽しんでいる」「ひきこもり気味だったけれど、ボランティア活動がきっかけで気持ちが晴れた」といった声が聞かれます。ボランティアの皆さんそれぞれに楽しみを見つけ、気軽に活動されています。

Q ボランティアさんへメッセージを！

A 皆さんとの出会いは大切な“ご縁”だと思っています。生まれたご縁を大切に、細く長く、ボランティア活動を楽しんでいただけると嬉しいです。職員一同、皆さんがボランティア活動を楽しく続けられるようサポートさせていただきますので、あまり気構えず、遊びに行くぐらいの感覚で気軽にお越しください。

ボランティア活動の希望や問い合わせなどは、下記までお気軽にご相談ください！

<お問い合わせ>

社会福祉法人 足羽福祉会 介護老人福祉施設 愛全園 (丸山町40-7)

TEL 53-5411 (担当 布川さん、坪田さん)

FAX 53-5433

ホームページ <https://www.asuwafukushikai.jp/facilities/aizenen/>



ボランティア 豆知識

収集ボランティアをやってみよう！

～エコキャップ運動編～



気軽にできて、誰かの役に立つボランティアないかな？と考えている方、収集ボランティアに挑戦してみませんか。エコキャップ運動は、「ペットボトルのキャップを捨てるのはもったいない」という女子高生の声をきっかけに全国に広がりました。福井でも、「ふくいエコキャップ運動委員会」が2009年からエコキャップ運動を始め、2017年までにリサイクル業者で換金した約285万円の収益金を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄附しています。

ペットボトルの小さなキャップ 860個で、一人分のワクチンを購入する資金となり、感染症に苦しむ世界の子どもたちの命を救うことができます。

自宅で、会社で、気軽に取り組むことができるエコキャップ運動に、あなたも取り組んでみませんか。

福井市内のエコキャップの受付先

会社名	住所
福井テレビ本社	問屋町3丁目410
ハーツ羽水店	木田3丁目2802
ハーツ学園店	学園2丁目9-22
ハーツ志比口店	志比口2丁目11-13
福井環境事業株式会社(二日市リサイクルセンター)	二日市町19-8



※このほかにも、市内いろいろな所でペットボトルキャップが回収されています。

※「ふくいエコキャップ運動委員会」の活動について、詳しくはホームページ <http://www.fukui-tv.co.jp/ecocapiinkai/> をご覧ください。